

# 消費税増税容認では区民に寄り添えません 格差・貧困から暮らし守るため全力 共産党区議団

日本共産党荒川区議会議員団

## 横山幸次

区政報告  
ニュース

737

2019年6月30日  
発行 日本共産党区議団  
3802-4627  
fax 3806-9246  
arajcp@tcn-catv.ne.jp

横山区議事務所  
荒川区町屋5-3-5  
3895-0504  
Eメールアドレス  
kouji.office@gmail.com

荒川区政の各種情報・  
話題など...横山幸次区議  
のホームページをご覧ください。

6月24日から7月10日までの日程で、荒川区議会6月会議がはじまり、初日、2日目と一般質問が行われました。日本共産党区議団は、小林区議と新人の相馬ゆうこ区議が質問に立ちました。その一部要旨をご紹介します。(2面に相馬区議)

### 区民の格差・貧困拡大の認識と対策を問う

区民の総所得金額を世帯別に見ると、年所得200万円以下の低所得層が引き続き全体の約5割を占めています。一方、年所得1000万円以上の階層はこの数年増加しています。こうした所得格差の広がりに加え、消費税8%増税の時、年

### 貯蓄ゼロ世帯の推移

(全世界に占める貯蓄ゼロ世帯の割合、単位：%)



### 消費税8%増税以後 3年間で消費が34万円減少!

元内閣官房参与の藤井教授作成の資料(下グラフ1世帯あたりの消費支出額の推移)によると、2014年の消費税増税により、わずか3年で約9%もの消費が落ち込んでいます。こんな状況で消費税10%増税を実施すると消費がさらに冷え込み、日本経済に破壊的な打撃をもたらすのは明らかではないでしょうか。



収入200万円の場合、8.9%の負担率、ところが年収200万円以上の場合、負担率は1.5%です。可処分所得は、さらに大きな格差が生じた4年間といえます。

また区が昨年、一昨年と実施した調査では、この4年間に区内製造業は3分の2まで減少しており、商業を含めた事業所の減少が続いています。

いま老後は、公的年金以外に2000万円必要という金融庁WGB報告書に国民の怒りが広がっています。民間生命保険会社の60歳預金調査によると、1億円以上の高額の貯蓄を持つ層が増

える一方、100万円以下が4%増で約25%を占めています(裏面今週のデータも参照)。

消費税増税、年金と給料を減らしたアベノミクスの破綻による区民の格差と貧困の広がりについて区の認識をたどりました。

区は、「消費税が社会保障の安定的財源」との政府見解を肯定、区民の中で格差と貧困が広がっている現実については、答弁を避ける姿勢を示しました。

住民のくらしの実態や政府の政策の影響などから眼を背けるようでは、くらしを守る区政・地方自治体の役割が果たせないのではないのでしょうか。

先にお知らせしましたが、都電通りの熊野前から町屋駅までの間、東京都による電柱地中化工事が行われております。それに伴い夜間車両通行止めのお知らせ看板が立つていましたが、どの日が工事で通行止めかは記されていませんでした。東京都第六建設事務所の担当に電話で「最低限通行止めの日がわかるようにできないか」と申し入れました。その後

23	24	25	26	27	28	29
日	月	火	水	木	金	土
		通行止め	通行止め			



折りに触れ、看板を確認してください。その後、地デジ対策などで未入で接続している世帯など新たな対応も求められるようです。詳細は、後日お知らせします。(横山幸次)

### 都電通りの電柱類地中化工事が本格化か 夜間通行止めのお知らせが改善されました

先にお知らせしましたが、最近になって一週間単位で工事の日が記入されていることを確認しました。ちよつとしたことですが、仕事で夜間に運転される方の場合によっては緊急車両の通行もあるはずですから、この地中化でケーブルテレビの同軸ケーブルがなくなり光ケーブルだけになるようです。今

### 裏面「WEラブ赤ちゃんプロジェクト」...など

## お気軽にご相談ください 定例法律相談会

7月1日(月)  
横山事務所18時~20時  
8月の法律相談は、お休みします。

生活相談は、随時受け付け  
TEL&FAX 3895-0504  
不在時は、留守電へ後で連絡します。  
区役所控室 3802-4627



# 子育てしやすいまち荒川をめざすために… 「WEラブ赤ちゃん」プロジェクト参加を提案

「WEラブ赤ちゃん」って何？  
エッセイスト紫原明子さんの呼びかけにより、ウーマンエキサイト(ママを中心とした女性向けの情報サービスサイト)が2016年5月5日に「WEラブ赤ちゃんプロジェクト」発足。赤ちゃんの泣き声を温かく見守っている人たちが居ることを可視化するステッカーを作りました。

最近、区内の保育園近隣の住民から「園児の声がうるさい」などの苦情が寄せられ、園庭での遊びを控えるといった事例がありました。電車での赤ちゃんの泣き声を気にして、気軽に外出できないという親の声も少なくありません。こうした中、「WEラブ赤ちゃんプロジェクト」の取り組みが注目されています。これは「赤ちゃんが泣いてもいいよ」と書かれたステッカー、ポスターを配布し、子どもが泣いても保護者が必要以上に気にしなくてよい環境をつくるという取り組みです。すでに14県をはじめとする自治体含む200以上の企業団体が参加しています。23区では、世田谷区が賛同し、6月から区役所等の施設や協力企業にステッカー付のチラシを置き普及しています。

## 「煩音」って何ですか…ちょっと考えてみませんか

煩わしい音と書いてハンオンと読みます。「煩音」とは、人間関係や心理状態によりうるさく感じてしまう「音」のことです。音を出す側と聞かされる側との関係性が深く関わっています。

インターネット上で「声を出さないで」の貼り紙がある公園が話題になったそうですが、電車や施設で子どもが泣いたらどうしようと不安になる親は少なくありません。お互いの理解で解決することが大事で「騒音」とは区別する対応が必要です。

東京都福祉局の調査で整備して欲しい第2位が「子どもが泣いても周囲の目を気にすることなく利用できる電車」でした。都が7月末から大江戸線に「子育て応援車両」をつくり試験運行するとの報道がありました。こうしたことも子育てしやすい環境づくりの重要な課題です。



も参加を」と本会議で提案しました。区は「子育て応援店が47店に広がり、同じ気持ちで取り組んでいる」として参加表明は残念ながらありません。

ていきたいと思いをし



14県の方言で応援

## 7月1日から本庁舎「喫煙所」を廃止し 荒川公園内に閉鎖型喫煙所(トレーラー型)を整備



現在の1階喫煙所(円内)



上は、トレーラー型喫煙所



現在の永久水利施設の西側

6月末で本庁舎1階東側入口付近に設置されている喫煙所は廃止になります。その後は9月設置予定で、電源コネクタ着脱で随時かつ任意に移動可能なトレーラー型屋内喫煙所を荒川公園内に設置することになりました。

喫煙所は、設置場所に合わせた特注になるため、約1000万円の経費が掛かるようですが、全額東京都の補助でできる予定とのことです。設置後に荒川公園内にある2カ所の灰皿は撤去します。

また区職員には、勤務中の喫煙自粛を徹底し、禁煙を希望する職員への禁煙外来への補助など支援メニュー(職員互助会で)を検討中。

## 今週のデータ 安倍政権の「成果」は低賃金非正規労働者の拡大

安倍政権下で非正規労働者は304万人も増えて2120万人になりました。非正規労働者数も非正規率(37.9%)も過去最高。そして非正規労働者の75%が年収200万円未満のワーキングプア状態に置かれています。貧困と格差は大きく広がっています。

### 安倍政権下で非正規労働者が304万人増 非正規率37.9%と過去最高



■非正規労働者数(万人) ■非正規率(%)